

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月12日

【四半期会計期間】 第43期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社東邦システムサイエンス

【英訳名】 TOHO SYSTEM SCIENCE CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 村上 宣夫

【本店の所在の場所】 東京都文京区小石川一丁目12番14号

【電話番号】 03(3868)6060

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 高橋 誠

【最寄りの連絡場所】 東京都文京区小石川一丁目12番14号

【電話番号】 03(3868)6060

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 高橋 誠

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第1四半期 累計期間	第43期 第1四半期 累計期間	第42期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	2,282,704	2,218,972	9,626,063
経常利益 (千円)	132,374	117,440	752,841
四半期(当期)純利益 (千円)	75,088	64,931	435,958
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	526,584	526,584	526,584
発行済株式総数 (株)	6,932,996	6,932,996	6,932,996
純資産額 (千円)	3,805,899	4,127,270	4,180,901
総資産額 (千円)	7,448,203	7,608,883	7,512,525
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	11.06	9.57	64.23
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	20.00
自己資本比率 (%)	51.1	54.2	55.7

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権下での大胆な金融緩和政策や経済政策への期待感から円高是正や株価上昇の動きが見られ、輸出関連企業の業績が改善に向かう等、緩やかな回復基調にありました。

当社が属する情報サービス業界におきましては、経済政策の波及効果もあり、ソフトウェア投資は緩やかに増加しているものの、企業のIT投資に対する慎重な姿勢は継続しており、受注環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は主要マーケットである金融系分野において、前期から継続していた損害保険系システム統合案件や証券系大規模共同システム案件が終息を迎える一方で、銀行系業務の統合案件の受注が順調に推移いたしました。また、新たな大型案件の獲得に注力するとともに、既存顧客との取引拡大や新規顧客の獲得に向けた積極的な営業活動を展開してまいりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高2,218百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益115百万円（同11.8%減）、経常利益117百万円（同11.3%減）、四半期純利益64百万円（同13.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

ソフトウェア開発

当社の中心的なビジネス領域である金融系業務の売上高は1,859百万円（前年同期比2.7%減）となりました。統合案件などを受注した銀行系業務は364百万円（同114.9%増）と大幅に伸展し、生命保険系業務も382百万円（同34.0%増）と前年同期を上回りました。一方で、大型案件が終息に向かった証券系業務は338百万円（同34.1%減）、損害保険系業務は737百万円（同20.4%減）と前年同期を下回りました。

金融系業務以外では、通信系業務が114百万円（同37.8%減）と前年同期を大幅に下回り、運輸・郵便系業務は61百万円（同212.0%増）となりました。

これらの結果、ソフトウェア開発の売上高は2,133百万円（同3.3%減）となりました。

情報システムサービス等

主たる業務であるコンピュータ運用管理業務は堅調に推移し、情報システムサービス等の売上高は85百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

< 資産、負債及び純資産の状況 >

当第1四半期会計期間末における総資産は7,608百万円となり前事業年度末に比べ96百万円増加しております。これは主として、現金及び預金が153百万円、仕掛品が79百万円、繰延税金資産（流動資産）が59百万円、投資有価証券が26百万円増加し、売掛金が216百万円、のれんが13百万円減少したことによります。また、負債合計は3,481百万円となり前事業年度末に比べ149百万円増加しております。これは主として、未払費用が384百万円、退職給付引当金が39百万円増加し、買掛金が30百万円、未払金が14百万円、未払法人税等が58百万円、賞与引当金が165百万円減少したことによります。純資産は4,127百万円となり、前事業年度末に比べ53百万円減少しております。これは主として、四半期純利益64百万円の計上と、その他有価証券評価差額金17百万円の増加があったものの、剰余金の配当135百万円の減少があったことによります。これらの結果、自己資本比率は54.2%となり、前事業年度末に比べ1.5ポイント減少しております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は3百万円であります。

なお、当第1四半期累計期間において当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,932,996	6,932,996	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は100株 であります。
計	6,932,996	6,932,996	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		6,932,996		526,584		531,902

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 145,900	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 6,747,200	67,472	-
単元未満株式	普通株式 39,896	-	-
発行済株式総数	6,932,996	-	-
総株主の議決権	-	67,472	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,300株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数13個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
（自己保有株式） 株式会社東邦システムサイエンス	東京都文京区小石川 一丁目12番14号	145,900	-	145,900	2.10
計	-	145,900	-	145,900	2.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,594,318	4,748,101
売掛金	1,272,993	1,055,999
有価証券	405,363	405,422
仕掛品	6,151	85,267
繰延税金資産	180,948	240,190
その他	56,023	53,781
貸倒引当金	4,446	3,792
流動資産合計	6,511,352	6,584,971
固定資産		
有形固定資産	32,836	32,047
無形固定資産		
のれん	53,139	39,854
その他	60,930	57,700
無形固定資産合計	114,069	97,554
投資その他の資産		
投資有価証券	84,871	111,733
繰延税金資産	619,960	626,077
その他	154,184	161,248
貸倒引当金	4,750	4,750
投資その他の資産合計	854,266	894,309
固定資産合計	1,001,172	1,023,912
資産合計	7,512,525	7,608,883

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	710,892	680,468
リース債務	3,086	3,108
未払金	66,394	51,698
未払費用	137,859	522,577
未払法人税等	190,820	131,821
賞与引当金	335,709	170,429
受注損失引当金	-	1,461
その他	156,051	146,236
流動負債合計	1,600,813	1,707,801
固定負債		
リース債務	12,742	11,962
退職給付引当金	1,609,626	1,649,557
役員退職慰労引当金	108,442	112,292
固定負債合計	1,730,811	1,773,811
負債合計	3,331,624	3,481,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	526,584	526,584
資本剰余金	531,902	531,902
利益剰余金	3,189,469	3,118,659
自己株式	71,139	71,259
株主資本合計	4,176,816	4,105,886
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,084	21,384
評価・換算差額等合計	4,084	21,384
純資産合計	4,180,901	4,127,270
負債純資産合計	7,512,525	7,608,883

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,282,704	2,218,972
売上原価	1,865,467	1,819,772
売上総利益	417,236	399,200
販売費及び一般管理費	286,601	283,917
営業利益	130,634	115,283
営業外収益		
受取利息	90	73
受取配当金	1,258	978
保険事務手数料	275	266
貸倒引当金戻入額	-	654
その他	116	230
営業外収益合計	1,739	2,202
営業外費用		
支払利息	-	42
その他	-	2
営業外費用合計	-	45
経常利益	132,374	117,440
税引前四半期純利益	132,374	117,440
法人税、住民税及び事業税	136,674	127,432
法人税等調整額	79,388	74,923
法人税等合計	57,286	52,509
四半期純利益	75,088	64,931

【注記事項】

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	5,611千円	6,087千円
のれんの償却額	13,284千円	13,284千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	115,383	17	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	135,741	20	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社の報告セグメントは「ソフトウェア開発」のみであるため、記載を省略しております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当社の報告セグメントは「ソフトウェア開発」のみであるため、記載を省略しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当社の報告セグメントは「ソフトウェア開発」のみであるため、記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社の報告セグメントは「ソフトウェア開発」のみであるため、記載を省略しております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当社の報告セグメントは「ソフトウェア開発」のみであるため、記載を省略しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当社の報告セグメントは「ソフトウェア開発」のみであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11.06円	9.57円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	75,088	64,931
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	75,088	64,931
普通株式の期中平均株式数(株)	6,787,263	6,786,945

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

株式会社東邦システムサイエンス

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 日高 真理子 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大屋 浩孝 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社東邦システムサイエンスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第43期事業年度の第1四半期会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社東邦システムサイエンスの平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。